

神父様……ごめんなさい

（発情シスターに精液補給、これも立派な救済ですか）

■ 1.……ごめんなさい。神父様

【シスター】

……あ。

目を醒ましたか、神父様。

どうぞ、横になつていてください。

神父様は、倒れていらしたのです。

……はい。

（ここは教会です。神父様は、この建物の前に倒れていらっしゃいました。

森の、かなり奥にある教会ですので、神父様がご存じでないのも当然だと思ひます。安全な場所ですから、どうぞ）安心ください。

特に怪我などはされていませんでしたが……どうされたのですか？
……分からぬのですか？

そう……ですか。

意識が急に、吸い込まれるように無くなつた……。それは、不思議ですね。

あの……どうして神父様は、この森にいらっしゃったのですか？
深い森ですし、たまに魔物もいるので、危険だと思うのですが……。
魔女……？ この森に、魔女が出るというお話を……？
その調査のために、いらしたのですか。
そう、なのですか……。

……い、いえ。私は、魔女なんて、存じ上げません。
は、はい。毎日、この教会で暮らしていますが……魔女の気配など、決して。
いえ……お役に立てず、申し訳ございません。

あ……神父様。どうされました？

目を覚まさればかりながら、安静になさつていてください。
めまいを感じるかと思います。お体もまだ力が入らないでしょう？

……い、いえ。お顔を見ていると、そうではないかと思いまして。

この教会から、近くの村までは一時間ほどかかります。

今のお体で歩くのは辛いかと思います……。そろそろ日も暮れて参りました。
もし、神父様さえよろしければ……。本日は、ここに泊まっていかれてはいかがですか？

はい。そのベッドは、元々来客用のベッドですので、普段は使われておりません
です。なので、何も問題はございません。

……いかがですか？

……はい！ ありがとうございます。

ふふっ。誰かとお話しするのは、とても久しぶりです。
私、嬉しいです。

あ……少し、不謹慎でした。申し訳ありません……。
神父様は遊びに来たわけではないのに……。

……いえ。そう言つていただけると嬉しいです。

……はい。なんでしょうか？

わ、私のこと……ですか？

え、ええと……。それは、その……。

この教会は……い、家のようなもので……。

えつと、わ、私は……し、シスター、みたいな、ものです……。
し、シスター・ロベルタと申します。改めて、初めまして。

え、ええっ！？ そ、それは……その……。確かに、誰もいない場所ですけど……。
でも……私は、ここにいないと、いけなくて……。
その……うう……。

……。
神父様？

ひよつとして……急に眠くなってきたのではありませんか？

いえ……。何も、不思議なことはありません。

眠いのでしたら、そのまま、お眠りください。
いえいえ。不思議なことなんて、何も……。
きっと、お疲れが溜まっていたんですよ……。
おやすみなさい、神父様……。

……、「めんなさい。神父様。
ごめんなさい……。」

■ 2. ここ夢をアリ覽になつてくだれい

【 ロベルタ 】

……んへ、あ……んへ、はあ、あ……。
あ……へ、はあ、はあ……んへ、はあ、あ……へ。

だめ、なのに……わかつてゐるのに……。指、止まらないの……。へ。
んへ、はあ……へ。あへ、あ……へ。

神父様……私の、りょ……ちゃんと、見ててくれた……。
目を見て、話してくれた……。へ。

疑われちゃつてた、みたいだけど……でも、泊まつてくれるへ、留つてた……。へ。
私のことを知るうと、してくれた……。へ。
すゞく……嬉しかつた……。へ。

だから……軽蔑なんて、されたくない……。嫌われたくない、のにい……。へ。
でも……。へ。気持ち、いいの……。へ。
いじるの……止められない、の……。へ。

「めんなさ」……へ、神父様、「めんなさ」……。へ。
んへ、あへ、ふあああ……。へ。あへ、あへ、はへ、んへ、あへ、はあああ……。へ。
あ……で、でも……神父様、ぐつすり、眠つてゐ……。へ。

全然、起きない……。

私の、力、よく効いてる、みたい……。
これ、なら……大丈夫、かなあ……。はあ、はあ、はあ……。
ちよつと……ちよつとだけ、触らせて、もらつてわ……。へ。ん……。へ。

あーーん……。へ。

はあ……。

あ……へ。耳い……。すゞく、美味しく感じる……おいしいよお……。へ。
あーーん……。へ。

ふはあ……。へ。

ん……へ、りへち、も……。へ。
はあ……。

あ……つ。

お、男の人の、味……つ。

すごい……つ。えへへ……つ。

舐めながら……、い、弄るの……すゞぐく、気持ちいい……つ。
指……奥まで、入つちやう……ぐちゅぐちゅ、しちやうの……つ。
どんどん濡れてきてる……シーツ、汚しちやう……つ。

んつ、あつ、あつ、はあ……つ。んつ、あつ、あつ、あつ、あ……つ。

み、耳、舐めても、起きなかつた、から……。
これも、大丈夫、だよね……つ？ ん……つ。

き、キス……つ。

はあ……。

あ……つ。

き、キス、しながら……ぐちゅぐちゅ、するの……つ。
頭、真つ白に、なる……つ。

これ、すゞい……すゞいよお……つ。
シーツ、ぐちやぐちやあ……つ。

もう、止まらない……。

ん、はあ……。

ん、はあ……。

神父、様……口、開けてくれない、かな……
舌、絡ませたい……べろちゅー、したい……。

あ、そつか……私のほうから、こじ開けちゃえば、いいんだあ……つ。

ん、はあ……。

ん、はあ……。

あ……体、熱い……。すごいの、きちゃつて、るう……つ。

ん……つ、あ……つ。

神父様あ……つ。見たいよお……つ。

お……おちん、ちん……。

神父様の、おちんちん、見たい……つ。

で、でも……見ちゃつたら、絶対……

止まらなく、なる……つ。

もう、自分で弄るだけじゃ、済まなく、なつちやう……つ。
おちんちん、ハメハメ、ぱんぱん、したくなつちやう……つ。

は、早く、イかないと……つ。

戻れなく、なる……つ。

あ……つ。きた……つ。熱いの、きた……つ。

イク……つ。イキたい……つ。イキたいの……つ。

ああ、おちんちん見たい……おちんちん欲しい……おちんちんでイキたい……つ。
でも、絶対、ダメ……つ。ダメだから……つ。

き、キスだけで……我慢……つ。

ん……つ、んんんんんんんんんん……つ！――！
ん……つ、ん、ん……

は、あ……。

あ……イ、イッちや、つたあ……

い……今まで、した中で……一番、気持ちよかつた、かも……。
男の人がいるだけで……こんなに、感じちやうんだ……。
はあ、はあ、はあ……。

神父様は……ゆつくり、おやすみに、なつてているのに……。
私……いやらしいことだけ、考えて……。
はあ、はあ、ふう……。

ごめんなさい……ごめんなさい、神父様……。
私のせいで……こんなに……。
ごめんなさい……。

シーツ、汚しちゃいました……。
周り、拭いていかないと……。

……せめて、いい夢をご覧になつてください。神父様……。
……ちゅつ。

失礼します……。

■ 3. はあ……美味しいです、神父様……

【 ロベルタ 】

……あ。

お、おはようござります……神父様。

お加減は、いかがでしようか。

そうですか……それは、よかったです。

お部屋の机に、朝食を置かせていただきましたが、お召し上がりになられましたか？
美味しかったですか？ あ……、ありがとうございます。

はい。一応、私が焼いたパンですので。そう言つても心えると、嬉しいです……

……きやつ！

あ……ありがとうございます、神父様……。

あ、あはは。少し、ぼーっとしていました。申し訳ありません……。

……あ、はい。ここは、礼拝堂……です。

神父様がいらっしゃるまで、朝のお祈りをしていました。

少し古くて、ところどころ壊れていますけど……でも、お祈りは、できますから。

その……神父様は、まだお帰りにならないのですか？

あ……、い、いえ、お礼なんて……！

私はただ、余っていたベッドをお貸ししただけですから……。

何かお手伝い、なんて……。神父様に、そんな……。

……。

そこまで仰るのでしたら……、ただ、よろしいでしようか？

はい……。といつても、そんなに大変なことではないのですが……

誰かが教会に来たときのために……この礼拝堂で待っていていただけませんか？

私は……他に、どうしてもやらないといけない」とがつて……。

はい。本当に、待っているだけで結構ですので。

……ありがとうございます。

では……私は、少し、失礼します。

用事を、済ませて参りますので……。

……。

もしもし。

神父様?

寝てしまつた……でしようか?

可愛らしい寝顔……。

頭、失礼しますね、神父様……。

えい。

膝枕、です。ふふ……。

寝たフリ……ではない、ですよね?

大丈夫そうです。

神父様……。

とても、素敵なお顔です……。

いえ、お顔だけではなく……お体も、大きくて、しっかりといて……

立派な大人の男性、という雰囲気で……

お慕い申し上げています……神父様。

教会の前で、初めて出会つたときから……お慕いしておりました。

そのせいで、体の発情を抑えることができなくて……
自分で、慰めてしましました……。

でも……とても、気持ちよかったです……。

あんなの、初めてのことでした……。

お慕いしている方が近くにいる、というだけで……

あそこまで、快樂が強くなるものなのですね……。

ああ……いけません。

神父様と、ただ触れ合いかつたから、膝枕をしただけなのに……
可愛らしい寝顔が、目の前にあるなんて……。

また、夜のことを、思い出します……ん……。

ダメ、です……。だめ、だめ……。

ああ……私、私……

神父様……愚かなロベルタをお許しください……

はあ……。

あ……。神父様の唇……美味しい……瑞々しいリンゴのような味……。

頭が、とろけてしまいます……。

ん……はあ、はあ、はあ……。

神父様……全然、起きません……。眠りが深いほうなのでしょうか……？
も、もう少しだけ……触つても……。

上半身、だけなら……

失礼します、神父様あ……。

あ……

神父様の、お胸……

ふつくりした、可愛らしい、乳首です……

お、起きない、かな……？

触らせて、もらいますね……。

くり……くり。

こり……こり。

ん……

体、ビクつて反応した……

でも、目は、閉じたまま……起きてはいないみたい。

大丈夫そう……。なら、もうちょっと強くしても……

くり……くり、くり、くり……。

ん……乳首、ちょっと、固くなつてきました。

摘まんだら、こりこりつて感覚がします。

すごく……いやらしいですよ、神父様あ……

片つぽだけじゃなくて……両方とも、触りますね……。

指で摘まんで……くり、くり、くり、くり……。

手のひらで、転がしたり……。

きゅううううつて、引っ張つてみたり……。

あ……。神父様の体、震えました……。いやらしい夢でも、見てるんでしょうか？

ふふ……。

ん……乳首、もっと固くなつた……。

もう、カチカチになつてます……。

あ……とっても、美味しそう……。

「、これだけやつて起きないんだつたら……大丈夫、だよね……？
神父様の体、少し持ち上げれば……私の舌、届きそう……。
よい、しょ……。

いただき、ます……。

あーーん……

はあ……。

あ……。舌で、乳首の固さ、感じます……。
すごい……元気いっぱいの、敏感な乳首……。
美味しいです、神父様あ……。

あーーん……

はあ……。

あは……。片方だけだと、もう片方の乳首が、寂しそうです……。
大丈夫ですよ、今、ペロペロしますから……。
こつちの乳首は……吸い込むようにして……。

あーん……

はあ……。

あは……。美味しい、美味しいですよ、神父様あ……。
私のツバで、てらてら光ってて……乳首、すごく、いやらしい状態です……。

はあ……。

はあ……美味しいです、神父様……。

……あ。

神父様の、股間……ふ、膨らんでる……？
体が、反応してるの……？ ち、乳首、弄られて……。
でも、起きてるわけじゃないみたい……。
自然に、こうなつちやうのかな……。

ああ……。見たい、です……。男の人の、あそこ……。お、おちんちん……。

神父様の……どんな、形なんだろ……。

だめ、だめだめ……。見たら、絶対、戻れなくなる……。

で、でも……神父様、ずっと、寝てる……。

今しか、チャンスは、ないかも……。

……。あ。

こ、これが、神父様の……。

お、おちん、ちん……。

おつきくて、固く、なってる……。先っぽ、真っ赤……。なんだか、苦しそう……。

これ、触つても、大丈夫、なのかな……？ 爆発したりしないかな……。

……し、失礼します、神父様。

ん……

あ……熱い……。手、火傷しちゃいそう……。

それに……こんなに、固くなるんだ……。鉄の棒みたい。

おちんちんって、すごい……。

確か……このまま、擦（こす）つたりして……おちんちん、気持ちよくなるんだよね……。

真っ白い、精液っていうのが出て……それが子種になるって、聞いたこと、ある……。

このまま、手で擦れば……出してくれるかな……？

見たいな……おちんちんから、精液、出るところ……

……。

え？ 声……？

今……

あ……し、神父様……お、起きてるっ！？

わわっ！？

（）（）（）、「ごめんなさい、ごめんなさいいっ！」

お許しください、神父様っ！

ごめんなさい……っ！

ううう……っ！

■ 4. では……精液、いただきます……

【ロベルタ】

…………。

申し訳ございません……神父様…………。
弁解の余地もありません…………。

全て、私が悪いのです…………。
本当に…………。

……はい。ご説明、させていただきます。

神父様は、昨日…………この森に魔女が出る、というお話をされていましたが…………。
その、魔女、というのは…………おそらく、私のことだと思います。

正確には、魔女ではなく、魔物、というべきなのでしょうが…………。

私は、こう見えて、サキユバスなのです。

……はい。そうです。

あまり、魔物っぽい容姿ではないのは、私が人間とサキユバスの混血…………。
ハーフサキユバスだからでしょう。

それでも、サキユバスの力は、ある程度持っているので…………。
この教会に、幽閉されているのです。

……はい。確かに、幽閉といつても、束縛されているわけではありません。
ただ、これは、私の一族にかけられた呪いのようなもので…………。

この森の中までは自由に動けるのですが、その外に出ることはできないのです。
おそらく、森の中に一人で暮らしている私を、誰かが発見して…………。
魔女がいる、という噂になつたのかと思います。

……はい。この体は、あまり食事を必要としないので、生きていく上では困りません。
教会の裏に小さな菜園を作っていますし、たまに獣がここに迷いこんでくるので、
どうしても空腹を感じたときは、それを狩って食べていました。

ですが…………一つだけ問題はあつて…………。
たまに、発作のよう、サキユバスの血が騒ぎだしてしまうのです…………。
血が騒ぐと、性的欲求…………つまり、その、性欲が増してしまつて…………。

いやらしく、なつてしまふのです……。
夜は、それが更にひどくなります……。

いつもは、その……ひ、一人で慰めているのですが……。
神父様がいらつしやつたことで、我慢できなく、なつてしまつて……。
つい……姦淫（かんいん）を、行つてしまふところでした……。
本当に……申し訳ありません。

……し、神父様。

私のこと……村の方々に、ご報告なさいますか？
正直……何も、弁解はできません。

私はこのまま、ただ一人で暮らしていくつもりでした……。
でも、とうとう、人間に……神父様に、危害を加えてしましました……。
その罪は、万死に値するかと思います……。
覚悟は、しております……。

……。

……は、はい。

サキユバス化を止めるのは、そんなに難しくありません……。

……その。男性の方から……せ、精液を、いただければ、治ります……。
ただ、治まるのは、あくまで一時的なものなので……。
定期的にもらわなければ、なりませんが……。

は……はい。純血のサキユバスのよう……。

男性から、精を全て奪い取つて、死なせてしまうようなことは、ありません。
ただ、神父様の精液をいただけ……普通に、暮らすことが、できます……。

……あ。

お、恐れ多いことを、言いました……。

申し訳ありません……！

神父様……。どうぞ、私を、煮るなり焼くなり、好きに処理してくださいませ……。

殺されるのは……正直、怖いですが……。

でも、神父様は……私に、とつても優しくしてくださいました。

まつすぐ目を見て、話してくださいました。

だから……最後に、素敵な思い出ができましたから……私は……

……。

……はい。

え……

本当、ですか？

精液を……いただいても？

も、もちろんです。とても、嬉しいです！

それだけで、サキユバスの血を抑えて暮らすことができます。

で、ですが……。

……神父様。

私は、同情してくださったのでしょうか。
ありがとうございます。

では……その。

恐れながら……精液を、いただこうかと思います。

神父様……

あ……。どうか、動かないでください……。全て、私がいたしますから……。

神父様の、ここ……小さくなってしまっています……。

まずは、大きくしないといけませんね……。

神父様……もし、お嫌でなければ……

先ほどのように、膝枕の姿勢になつていただいても、よろしいでしょうか？

……はい、ありがとうございます。

ん……。

はあ……。

口づけ……とても、素敵です……。頭、真っ白になつて……体中が熱くなります……。

あ……神父様の、……お、おちん、ちん……。
だんだん、固くなつてきました。

むくむくと、立ち上がりつてきて います。

素敵です、神父様……。

では……おちんちん、握らせて、いただきます……。
はい……。それから……じいいていきますね……。
ん……、しょ……ん……。

し、」……し、」……し、」……し、」……。

このようないじき方で、大丈夫でしょうか？

痛かつたり、辛かつたりは、しませんか？

あ……はい。サキユバスの本能として……やり方 자체は、分かるのですが……
その。実際にやった経験は、ありませんので……。
痛くはない、ですか？

分かりました。このまま続けさせていただきます……。

し、」……し、」……。

神父様の、おちんちん……どんどん、固くなつていきます……。
それに、とつても熱くて……手で握つていられないくらいです……。

強く握れば握るほど、敏感に反応を返してきて……

とつても素敵なおちんちんです……神父様。

もつともつと、気持ちよくなつてください……。

し、」……し、」……。

あ……先っぽ、くちゅくちゅして参りました。

先走り、というものですね？

透明なおつゆが、おちんちんの先っぽから出でてきています。

すんすん……。はあ……。

こもつた、いやらしい匂いが、してきました……。

遠慮しないで、気持ちよくなつてください……。

神父様。よろしければ、顔、こちらへ向けてもらえますか？
はい……。

はあ……。

あ……おちんちん、ビクビクしています。
神父様は、口づけ、お好きですか？
私も……大好きです……。

は
あ
・
・
・
。

あ
……おちんちん、震えてます
……

精液、あがつてきましと

はい いってせども 神父様
ムジ、三三、受サ二の三、い

気持ちよくなることだけ考

ル・ル・ル

Q° را د را د را د را د را د

あ
はい、どうぞ、
お父様あ
う。

あ
す
ゞ
い

左手に……びゅるるつと当たっています……

ふああ.....熱い.....。

..... را لے کر دے کر دے کر دے ۰

ん 射精、落ち着きましたか？

はい。　はい。　はい。　はい。　はい。

... さん。

伸父集

神父様……精液、いただき、ましたあ……。

とつても濃厚でねばねば、して匂いが強くて、頬、くらくらするくらいで。

美味しかった、です……。

ノ
は
よ
う
こ
う
は
よ
う

ありがとうございます、神父様。

おかげさまで、サキユバスの血が、だいぶ落ち着きました。
おちんちん、汚れてしましましたね……。今、お拭きいたします。

あ
の
神父様
ま、
いかが
でした
か?

おちんちん、気持ちよかつた……ですか？

は？ わ、私、一体、何を聞いてるんでしょうか……っ！

はいっ！ おちんちん拭き終わりました！
神父様！ 本当に、ありがとうございました！
わ、私……お、お昼ご飯を、作ってきます！

失礼しますね！

■ 5. 私、我慢できないんです……

【ロベルタ】

神父様……

起きていらっしゃいますか……。

失礼いたします……。

眠つていらつしやいます……。可愛らしい寝顔……。

あ……ですが、神父様に近づけば近づくほど、感じます……。

すんすん……。
はああ……。

射精した後の、おちんちんの、匂い……。

ほんのわずかですけど……でも、確かに感じます。

すんすん……ああ、いい匂い、です……。

申し訳ありません、神父様。

先ほどは、精液さえ吸収できれば、サキュバスの血は治ると申しましたが……
精液をいただいたのは、初めてのことなので……
……体の火照りが、まったく治まらないのです……。

神父様は、今日もこの教会に泊まつてくださいました……。
きつとそれは、私の監視も兼ねているのだと思います。
けれど……

引き続き精液をいただける、と思つても、いいのでしょうか……？

神父様……ごめんなさい、ごめんなさい……。

私、我慢できないんです……！

あ……。

神父様の、おちんちん……。
まだ、小さままですけど……。

すうう……。はああ……。

ああ……精液の香り……。頭、ぐらぐらしてしまいます……。

とつても、美味しそう……。

いただき、ます……。

あーーん……

はああ……。

あ……おちんちん、びくっと反応しました……。

むくむくっと大きくなっています……。

神父様……もう一度、私に精液を飲ませてください……。

温かいお恵みを、ください……。

あーん……

はあ……。

でも……私ばかりいただくのは、申し訳ないですから。
神父様にも、気持ちよくなつていただきたいです……。

先ほど、乳首もよく感じていたようですから……いじらせて、
いただきます……。

ああ……神父様の、ぷっくり膨れた、可愛らしい乳首……。

くりくり、くりゅ、くりゅ……。

はあ……。

あ……。

先走りの味が、いたします……。

感じていらっしやるのですね。嬉しい……。

激しく、じゅぼじゅぼいたしますから……気持ちよくなつてください、神父様あ……
乳首も、くりくり、くり、くりい……。

ん……へんんんんんんん……つっ！
ん、ん、ふ、う……。

へく……へくへくへく……。

ん、はあああ……。

あ……精液、とても、濃いです……。

刺激的な味で……舌が、痺れてしまいそう……。

美味しい……

ああ……でも、ダメです……。

せつかく、精液をいただいたのに……全然、体の疼き、治まりません……。

今度は……わ、私のここのはうが……

はあ、はあ、はあ……。

だ、だめ……。

ん……

神父様……まだ、起きていらっしゃいませんか……？
な、なら……大丈夫、かな……？

神父様……

私の、……

お、おまんこ……

慰めて、ください……。

ん……へ、あ……へ、あ……ふあ……つ。

あ……へ、神父様の、お顔に……

つ、私の、いやらしいところ、こすりつけちゃつてます……つ。

ん……へ、あ……へ、あああ……つ。

いけないこと、なのに……つ。ああ、なんでこんなに、気持ちいいの……つ。

ん……へ、あ……へ、あ……へ、は……つ、あ……ふあああ……つ！

あ……へ、つ、そこ、んん……つ！

神父様の、舌、動いてます……つ。あ……へ、ひあああ……つ！

夢でも、見ていらっしやるのでしょうか……つ。ん……へ、あ……つ。

あ……へ、あ……へ、あ……へ、ん……へ、あ……つ。

あ……神父様の、おちんちん……つ。

さつき出したばかりなのに……また、むくむくしてきます……。

神父様も……興奮していらっしゃるのですね……。

嬉しい、嬉しいです……つ。

私も……この体勢のまま、ご奉仕させていただきます……。
お互いの、いやらしいところを舐め合いましょう……。

ん
。

はああ
……。

あ……マ、神父様の、舌あ……つ。

ふああ…………。すゞい、すゞいです…………。?

和中 挑達し し 三十六

は
あ
・
・
・
・

あ
つ
や
だ
あ
つ
そ
こ
弱
い
ん
で
す
つ
く
く
クリ
ト
リ
ス
う
つ

んつはつふああ
.....つ。

私も、いっぱい、じゅぱじゅぱしますから。

神父様……………また精液がして……………

ん……」

100

に……一回分も、いただいてしました……神父様
どうぞうきま、でした。
。

卷之二

イツ、イツて、しました：

ありがとうございました。……

……あれ。

……この、息遣い……

……ひょつとして、神父様……

起きて、いらっしゃいます……？

……あうう。

も、申し訳、ございません……

また、やつてしましましたあ……。

■ 6. まだ、全然足りないの……

【 ロベルタ 】

昨晩は、申し訳つ、ありませんでしたっ！

今度こそ、何も、弁解の余地もありませんっ！

今すぐ、教会に突き出されても、何も文句は言えません……。うう……。

……あ、ええと、はい。

精液を、何度もいただいたので……あの後、体が疼くことはありませんでした。朝までぐっすり眠ることができました。……ありがとうございます。

……はい。そう言つていただけると、助かります……。本当に、すみません。

恐れながら……

もし、神父様が、私のことを街の教会に報告する気がないのであれば……そろそろ、村に帰ったほうがよいかと思ひます。

……というのも、ですね。

精液をいただくたびに、確かに、サキュバスの血は治まるのですけれど……

それとは別に……今度は、神父様のお顔を拝見するたびに……

その……いやらしいことをしているときの、気持ちよさを思い出して……

股間が、疼くようになってしまって……

だから……神父様に……迷惑でしようし……

そろそろ、お帰りになつたほうが、よいかと思ひます……。

……はい。今も、私の……お、おまんこ、疼いてしまっています。

朝だというのに……神父様の傍にいると、もう、体が熱くなつてしまうんです……。ですから、神父様……どうか……

……え？

はあ……。

あ……神父、様……
よろしい、のですか……？

今日も……精液、いただいても……
あ……嬉しい、です……ふふ……
では、お言葉に、甘えさせていただきます……。

神父様。そちらのベンチに、横になつてください。
私が、全ていたしますから……。
精液をいただける代わりに……

私も、一生懸命、神父様が気持ちよくなれるようになん張ります……。
服、失礼いたします。

ん……、あ……。

神父様の、おちんちん……もう、大きくなつています。
私のために、固くしてくださつたのですね。

嬉しい……。

はあ……。

ふふ……まずは、乳首から、失礼しますね。

あーーん……

はあ……。

神父様の乳首……相変わらず、敏感で、とても可愛らしいです……
すぐに固くなつてきます……。

反対側も……あーーん……

ぶはあ……。

あ……えへへ。おちんちん、もっと固くなつた気がします。
乳首、気持ちいいんですね、神父様あ……。

ん……おちんちん、真つ赤になつて、苦しそう……。
すぐに、ご奉仕しますからね……。

すんすん……ふああ。

おちんちんから、昨日の精液の匂い、します……。美味しそうな匂い……

あーーん
はあ……。

美味しい、です……。神父様のおちんちん、美味しい……。

あーん……つ。
ふはあ……。

あ……そうだ。神父様。
私、神父様に、もつともつと興奮して、気持ちよくなつてもらいたいです。
だから……

……ぞ) 覧ください。

私の、おっぱい……
いかが、でしようか。おそらく、そんなに小さくはないかと、思います。
……綺麗、ですか？えへへ。ありがとうございます……。
よろしければ……神父様も、私のおっぱい、お召し上がりになりませんか？
……はい。

では……どうぞ。

ん……つ。

んつ、あ……つ、はつ、あ……ふあ、あ……つ。んつ、あ……

えへへ……神父様が、私の乳首、ちゅうちゅう吸い込んでます……。
美味しいですか？ 神父様あ……。

はい……私も、乳首ちゅうちゅうされるの、とっても気持ちいいです……つ。
遠慮しないで、ちゅぱちゅぱ、ペロペロしてください……。

んつ、あつ、あつ、あつ、ふああ……つ、あつ、あ……。
神父様のおちんちんも、しこしこ、しますね……。

しこ、しこ、しこ、しこ……。

あ……。もう、先走り、いっぱい出てる……。

おっぱいをお召し上がりになりながら、しこしこされるの……お好きですか？

ふふ……神父様、可愛い……。

一生懸命ちゅぱちゅぱしてゐる……赤ちゃん、みたい……。

あ
ふふ。恥ずかしがつたりしないでください、神父様。

神父様は、何も考えず私に、どんどんいやらしく甘えていいんですよ。

ん？あ、おちんちん、びくびく。

もう、射精しそうですか？

はい お願いします……

は、付録、ジーニー。

あ
う
う、精液、いっぱい。
まだ、出てる。

貴様は、出でてください。

ふふ……では、いただきますね

ふはあ

は、は、ふう。。

こんなに、出してもらつたのに……

まだ、全然足りないの……

やだ……おちんちん、もつともつと欲しいって、思っちゃつてる
神父様、神父様あ……。

ん、あ……お願い、します……。じつとしてて
はあ、はあ……。

おちんちん……………まだ、固い

おまんこ……もう、ぐちやぐちやに濡れてる
入れようと思つたら……このまま、入つちやう

でも、だめ……それだけは、ダメ……
セックスは……好きな人と、しないと、いけないから……

神父様に、迷惑、かかつちやう。
それだけは、嫌いやなの。
。

ノ

でも……おまんこ、欲しい……おちんちん、欲しい、よお……。

おおん！」……また、濡れてきちゃうの……

音、鳴つてゐる……恥ずかしい……？

ん、あ、あ、は、あ、あ、……。ふああああつ！

イツちやい、ましたあ……おまんこ……

ぐちやぐちや、どろどろ、です、はあ、はあ

あれ
おまんこ
暖か
い

ひよつとして……神父様。また、出してくれたんですか？ 精液……
連續で、こんなに早く、出しちゃうなんて……
私、サキユバスの力で、催淫 サイイン しちやつたんでしょうか……？
そんなつもり、なかつたのに……。
でも……嬉しい……嬉しい、です……。
この精液も、いただきますね……

ん……れろお、れろお、れろ、ちゅぴ……
こくへ、こくへ、こくへ、こくへ……
ふはあ……。

ごちそうさま、でした……。
精液……すごく美味しかつたです。
ありがとうございます、神父様あ……。

■「神父様……大好きです……」

【ロベルタ】

神父様……

お、お話が、あります……。
よろしいでしようか……？

今まで……お昼に、サキユバスの血が疼くことなんてありませんでした。
なのに、今は、どうしようもないくらい、発情してしまってます……。
どうしてだろうって、私、考えたんです。

わ、私……

神父様が、好きです……。

好き……好き。好きなんです。

この体のせいで、長い間、誰とも話してなくて……
顔を合わせたとしても、馬鹿にされたり怖がられたりすることばっかりで……
こんなに優しくされたの、初めてなんです。

……「んなこと言うの、虫がよすぎるって自分でも思います。
いえ……違うの。違うんです、神父様……。」

本当は……神父様が教会の前で倒れてしまったのは……わ、私の、せい、なんです……。
神父様が、急に眠くなつたのは……サキユバスの、催眠能力のせい、なんです。
誰かが、教会の近くにいるって分かったら……会つてみたくて……
お話ししたくて、しうがなかつたから……。
気づいたら、使つてしまつて、ました……。

それから、この教会でお泊りになられてから神父様が眠くなつてしまつるのは

……本当にごめんなさい！

許して欲しい、なんて言いません。

私は……きっと、処分されることになるでしょう。
でも、せめて……この気持ちだけでも、お伝えしたかったんです。
それが、私が今まで生きてきた、唯一の理由だと思うから……。
私……優しくて温かい神父様が好き。大好き……。

離れたく、ないです……。

神父様……

きやつ。

あ……し、神父、様……

ん……つ。

はあ……。

あ……神父様……

ゆ……許して、いただけ、のですか……？

でも……わ、私は……神父様に、ひどいことをしてしまったのに……。
ああ、だめ、です……。

いけないことなのに

嬉しくて、嬉しくて、しようがないんです……。

神父様……神父様あ……つ。

【ロベルタ】

……神父様。

起きていらっしゃいますか？

今、よろしいでしようか……？

はい。失礼します……

……神父様。

また、精液を、よろしいでしようか……？

……。

申し訳ありません。今のは……嘘、でした。
はしたないことだつて、思つてます。

でも……今は、サキユバスの血が、疼いてなんかなくて……
ただ、私が……神父様に、抱いていただきたいから……
来ただけなんです……。

神父様……

ん……つ。

ん、はあ……。
あ……神父様
えへへ……。

はい、たくさん、ご奉仕させていただきます……。

服、お脱がせしますね……。

あ……

神父様の、おちんちん……もう、大きくなっています……。
神父様も、私で、興奮していただけているのですね。嬉しい……
はい。まずは、お口でご奉仕、します……。

あーん……

神父様のおちんちん……美味しいです。濃い味がして、すごく、美味しい……
はあ……。

ふふ……おちんちん、びくびく暴れていらっしゃいます。

もう、お口では押さえきれないですね。

あ、では、こういうのはどうですか？

私も、服脱ぎますね……。

ふふっ。ほら、神父様のお好きな、おっぱい、です……
このおっぱいで……えいっ。

おちんちん、挟んじやいましたあ……
私のおっぱい、いかがですか？

やわらかーいおっぱいの中に、おちんちんが、ぜーんぶ埋まっちゃってますよお……

このまま、おちんちんを……ずーり、ずーり。ずり、ずり、ずり、ずり……。
私のツバと……おちんちんの、先走りで、よく滑りますよお……

んへ、あ……すゞい……
おっぱいの中で……いつぱい震えますっ。

気持ちいい、って言つてくださいってみたいで……可愛らしいですっ。

ずり、ずり。ずり、ずり、ずり、ずり、ずり、ずり、ずり、ずり、

ん……。あ……でも、おちんちん、ずーっと暴れ回ってます……。

め??、です。おちんちんさん……っ。
もつと、おっぱいで、抱きしめちゃいますから
っ。

我の心は、我の心は、我の心――。(。)

ん
？

先ほほ真赤で今すぐ爆発しちやいそう……
先走りも、どろどろで……おっぱい、びしょび

……あ、はいっ。
分かりました。

では……お（ほい）外します……。

腰の上、失礼しますね。

わあ……………神父様の、おちんちん

熱さが、伝わってきま
はあ、はあ、はあ

神父様……分かりますか？ 私の……おまんこの、 感覚
可の手つてないの、 どうやうつうに寫せーミー。

「ご奉仕してたら、こうなつたんです……」

もう、我慢できません
いただきます、ね……

んつ
ふああああああああああ
……つ。

あ……っはあ、はあ、はあ……。入りましたあ……。
あ……すゞい……。おつきすぎで……おまんこ、全部、埋まつてます……。
固い……。つ。

うつ、動きます、ね
……。

あ……？ 奥まで届いてます……？ 神父様の、おちんちん……。
固くて、素敵なお……？ おちんぽ……？

おまんこに、ぴつたり、ですか……？

嬉しい、嬉しいです……。う

ん？
ん？
ん？
ん？
あ？
あ？
ん
？

ふはあ
・
・
・
つ。

あ、はい……。私、セツクスなんて、初めてです、けど……。
全然、苦しくなんてなくて……。
気持ちいいんですね……。

おまんこいい。。。おちんぽ気持ちいいの。。。きゅんきゅん、しちやつてるんです。。。？。

ん？ ん？ あ？ あ？

好き……つ。好きつ、好きつ。

神父様好き？好きなの？好き？好き？好き？
いやらしいこと好き？おちんぽ好き？神父様が、好きい……？

あ……へ、神父様の、息、荒いです……つ。

イキそう、なんですね……つ。

お願いします……つ。精液は、私の、中に……つ。おまんこに、ください……つ。

一滴残らず、おちんぽからびゆるびゆる注ぎ込んでください……つ。

えへへ……つ。精液、搾り取つちやいますね……つ。もつと、激しくう……つ。

んへ、あへ、あへ、あへ、あへ、あへ、んへ、あへ、あへ、

あへ、あへ、はへ、あへ、あへ、あへ、あへ、つ！

はい、いっぱい、出して……つ！

あ……へ、ふああああああああああああああああああ……つつー！

あ……へ、は、あ……は、あ……
中、出てるう……へ、奥に、びゆるびゆるつて……たくさん
あつたかい……おまんこ、いっぱいに、なつてます……

はあ……。

……神父様。

えへへ……おまんこ、とつても、いいですか？

はい。

はあ……。

神父様。ぎゅーってしても、いいですか？

はい。

えへへ。

私、幸せ……。

神父様……大好きです……。

■ 8. 「これからも、ずっと一緒にいましょうね……

【シスター】

あ……神父様。外にいらしたのですね。

教会の中にいらっしゃらないから、探してしまいました。

……はい。とても、いい朝です。

よく晴れていて……空気も澄んでいます。

さつき、教会の中に神父様がいなくて……
私を置いて、帰ってしまったのではないかと……少しだけ、不安になりました。

疑つてしまつて、ごめんなさい。

ん

神父様

いえ、旦那様あ……。

私……また、発情、してるんです……

よかつたら、抱いて、もらえませんか……？

はい……。キスしたら、もっと我慢できなくなりました……
このまま……教会の外で、抱いてください……。

ふああ……。

あ……つ。旦那様……私の、おっぱい、触つてます……。
ん……、あ……、ふああ……つ。指、優しい……私、もっと興奮しちゃい、ますよお……。

お返し、ですつ。えい……つ。

ふふ。旦那様の乳首の場所は、もう、分かってますから……つ。
「……」でしよう……？「……」り、「……」り……くり、くり……。

ん……つ、あ……つ。

やだ、服、脱がされちゃつた……

旦那様……？

あ……、ふああああ……つ！

い、いきなり……つ、おっぽい、ちゅぱちゅぱ、なんて……つ。

やだあ……乳首、吸わないでください、旦那様あ……つ。
もう……つ、いたずらっ子、です……つ。えへへ……つ。

私、だつて……旦那様の服……脱がしちゃい、ますから……。

ん……つ。あ……。

出しただけで、分かりますよお……おちんぽ、ガツチガチになつてゐる……。
ひよつとして、旦那様も、したいつて思つてくれてたんですか……？
えへへ……嬉しいです。

じやあ……もう、入れても、いいですか……？

あ……つ、おちんぽ、私の入り口、ぐちゅぐちゅします……。
ん……つ、あ……つ。カリ首が、クリトリスに当たつて……
つ、これ、すごく、気持ちいいです……つ。
ん……つ、あ……つ、ふああ……つ。あ……つ、あ……つ。

あうう……つ、でも、どうして、入れてくれないんですかあ……つ。
分かつてますよね、旦那様あ……つ。

私のおまんこ、もうトロトロなんですよお……つ。
お肉、ぐちやぐちやで……溶けちゃいそうなんです……つ。
我慢できないです……おちんぽ、欲しいです……つ。旦那様の、ちんぽ……つ。

ん……つ、あ……つ、ふああ、ああああ……つ！
あ……つ、入……つ、き、たあ……つ。
あ……つ、は……つ、あ……つ、ふああああ……つ。
あ……つ、は、あ……

あ、ごめん、なさい、旦那様……倒れちゃい、ました……。
ふふ……支えて、くれるんですね……。
私たち……ぎゅーって抱き合いながら、セックスしちゃつてます……
この格好、恥ずかしいんですけど……すごく、温かいです……。

はい……動いてください、旦那様あ……

ん……つ、んんん……つ！

んつ、あつ、あつ、んつ、あつ、はつ、あつ、んつ、あつ、あつ、はああ……！

あ……つ、これ、すごい、です……？。

ぎゅーって、してる、からあ……つ。体、全部くっついて……つ。

すぐく、温かいですよお……つ。

好きつて気持ち、溢れちやう……

旦那様あつ。すき、好きい……つ！

おちんぽつ、おちんぽつ、おちんぽ……つ。

大好きなおちんぽ……つ。

んつ、あつ、あつ、はつ、あつ、はつ、あつ、んつ、あつ、ふああ……つ！

んつ、んん……つ！

はあ……つ！

あ……つ！ 旦那様……つ！

もう、出ちやいそう、ですか……つ？

嬉しいです……つ！

私のおまんこは、もう、旦那様のものですから……つ！

何回でも、何十回でも、出してほしいです……つ！ 中出し、欲しいの……つ！

んつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あつ、あ……つ！

ふああああああああああああああ……つ！！

あ……つ、あつ、は、あ……つ、んつ、あ……

はあ、あ……。

中出し、いただきました……。おまんこ、いっぱあい……。

……でも、旦那様。

おちんぽ、まだ全然……小さくなつてない、ですよね。おまんこの中で、固いままです。

もしよかつたら……このまま、連続でしゃいますか？ しましよう？

お願いします。旦那様

……はい……。

あ……。体勢、変えますか？

はい。
え、と、壁に手をくんですか？

۱۱۵

えつと……ま、まさか、後ろから、しちやうんですか？

恥ずかしいです

でも、旦那様は、私のお尻に、見とれてくださいってたんですね……。
旦那様が、喜んでくださるなら……えへへ。

はあ、ああ
……つ！

また、入ってきましたあ……っ！

おちんぽ、すごい……、旦那様あ……っ！

あ
？、この、体勢、すごい
？、です
？。

全然、違う……？。ごりゅごりゅつて、おちんぽが、奥に届くの……？。
どちゅどちゅ、子宮叩かれちやつてる……？。

ん…… くはい 旦那様の好きなお尻…… たくさん 触くてください…… んっ はああああ…… つ！ あっ あっ あっ あ…… つ！

おまんこ、気持ちいい、気持ちいいですよお……っ！

旦那様のお顔、見られない、からあ……つ！ 不安に、なるの……つ！

何も、分からなくなるくらい、幸せで……っ！

こんなのは、嘘ぢやないかって思つちやうの……つ！

「こんな幸せが、続くはずないって、思つて……？」
「つひ、お五、准し准しこなるつ、思つうやうの？」
「？」

嫌つ、そんなの、嫌です……つ。

旦那様とずっと一緒にいたい……。一緒にいたいよお……。
……で、ずっと一緒に暮らしたいです……。つ。

旦那様へ 旦那さまあ……っ！

ん
。 。
つ！

は
あ
・
・
・
つ。

あ
…
つ、
旦那様
…
つ。

「ここに、いていただけるんですね……。私と……。」

う。 まゝ う。 う。 う。

すゞと一緒に暮らしましよ、……

旦那様とだつたら
　　ずつと、いやらしいことして過ぎ

ずっとセックスしたいです……つ。

好き…… 田那様好き……

はい、お願ひします。全部、中に注ぎ込んで……。

旦那様、私の名前を読んでください。

口へルタまで言しながら旦那様の精液を私の中に入れたさい……

は
あ、
あ
ん

えへへ。

好き、好きです……すき、すき、すき……。

……旦那様。

さつき、言つてくださいたこと……嘘じやない、ですよね?

……はい。

ありがとうございます……私、生きててよかったです……。

もう私だけの愛しい人

これからも、ずっと一緒にいましょうね……。

旦那様。

愛しています。